

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！



『本部』反動  
集団の

# 10.22スト破壊宣言 弾劾！

日刊 動労千葉

79.10.19

No. 252

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
(鉄電二三五八九・公衆二二七二〇七)

動労千葉の組合員のみなさん。全国の心ある動労千葉一四〇〇名労働者が、労働組合の責務、労農連帯の真価をかけて二期工事粉碎・ジェット燃料増送阻止・国鉄三五万人体制攻撃粉碎を掲げ、10・22半日ストライキに決起せんとする矢先に動労「本部」反動集団は、自らの反動性・反階級性を純化し10・22半日ストライキに公然と闘争破壊宣言を発してきました。

「本部」反動集団が発行する「再建情報」(No. 10・15付)には、ついに「10・22ストライキ断固反対」と書き出すまでに至ったのである。そしてこの「スト反対」方針をもつて、一五日以降連日三〇名余りの「オルグ団」は闘争拠点成田支部に押しかけ、闘争破壊、組織破壊攻撃を暴力的にかけてきているのだ。

動労千葉の組合員のみなさん。全国の心ある動労組合員のみなさん。動力車労働組合の中

にあって、「ストライキ断固反対」等と公然と叫び闘争破壊宣言を発したことがあるだろうか。そして「スト反対」の為の一「オルグ団」投入などあつただろうか。この許しがたい言動こそ動労「本部」反動集団は、もはや戦闘的・階級的労働運動とは全く無縁であるばかりか、政府・権力・当局の尖兵に成り下つたことを自己暴露した以外の何ものでもない。

まさに動労「本部」反動暴力集団こそ、労働者・農民の共通の敵である。

われわれは、かかる「本部」反動暴力集団の政府権力・当局と一体となつた闘争破壊、組織破壊攻撃を粉碎し10・21～22闘争を貫徹しなければならない。

## 権力の警備体制強化を要求する「本部」反動集団

「10・10」事件を「絶好のチャンス」とばかりに三里塚・ジェット闘争を破壊せんとする動労「本部」反動集団はなりふりかまわず、およそ労働組合として考えられない言動、組織破壊攻撃を行ってきていている。その攻撃の核心こそ、10・22スト貫徹によって動労千葉こそが階級的正義性を貫ぬき闘うものであることが事実をもって示されることに恐怖しているからである。そのため10・22ストの爆発をおそれストつぶしの為にヤッキとなっているのだ。

「本部」反動集団は国鉄当局に対しても唯一申し入れたことは「警備体制を強化しろ」の一点である。（これは成田支部にきた「オルグ団」の言葉である）つまり、労働者が権力を防衛され安心してジェット燃料を運ぶる状況をつくれと要求することであり、これでは労働組合労働者が政府権力の尖兵になり下ることを宣言したことにはかならない。われわれはこ

成田支部は執行部を先頭に連日にわたる「本部」反動集団の10・22スト破壊攻撃に対し「今こそ鐵路を武器に闘う動労千葉の真価を發揮する」「『本部』のスト破壊策動を絶対許さない」「成田支部の闘いをけがす一切の反動・敵対は許さない」と10・22スト破壊のためにのみ拠点成田支部に暴力的破壊攻撃を集中しているのだ。

このように「オルグ団」は内部の意志統一もできず、革マル反動分子のひきまわしによつて唯一の闘いをけがす一切の反動・敵対は許さない」と日夜奮闘している。動労千葉のすべての組合員のみなさん。成田支部の苦闘を自らのものとして一昨年末の「一〇〇日間闘争」の感動を想起し、ろ・30新生動労千葉結成の意義を再確認し、今こそ「本部」反動集団の闘争・組織破壊攻撃に怒りを新たに10・21～22闘争に総決起せよ！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！